

市民アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 目的

この調査は、市民の方々に、本市の環境に関する評価や日頃の環境行動の実践状況、本市の環境に関する今後の方向性などのご意見を伺い、平成 31 年 4 月から始まる第三次生駒市環境基本計画策定の基礎資料として活用するために実施しました。

(2) 調査対象

市民 2,000 人

【選定方法】住民基本台帳から市内に住む 18 歳以上の方を性別、年代による層化無作為抽出

(3) 調査方法

回答は無記名とし、平成 29 年 9 月 25 日～10 月 10 日を調査期間として郵送による配布、回収を実施。なお、調査期間を超えて返送された調査票についても、集計対象としています。

(4) 調査項目

- ・回答者の属性
- ・環境モデル都市について
- ・環境への関心・考え方について
- ・現状の環境・環境施策に対する満足度・重要度・誇りに思う生駒の環境について
- ・環境行動取組状況・今後の取組意向について
- ・取組の認知度・参加状況・関心度について
- ・生駒の理想的な将来像について
- ・環境関連情報の入手先について
- ・地球温暖化対策について

(5) 回収の結果

抽出数： 2,000 人（うち、無効票数 6 人）

有効回収票数： 854 票（平成 29 年 12 月 20 日までの返送を集計の対象とした）

有効回答率： 43%

(6) 留意点

- ・集計では、四捨五入の都合上、数値の合計が 100%にならない場合があります。
- ・グラフ中の N とは、回答者数を表し、無回答を含みますが、無効・除外した回答を含みません。

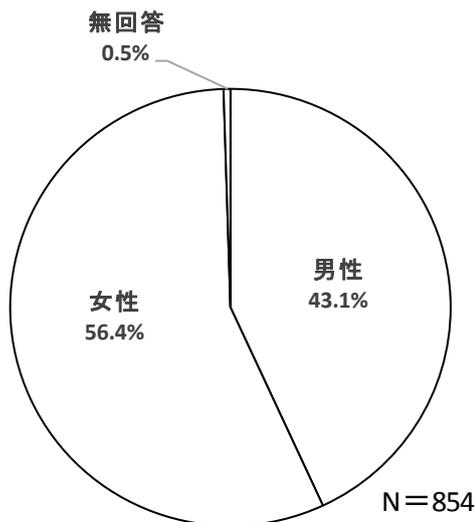
2. 調査結果の詳細

■ 回答者属性

問1 はじめに、あなたやあなたのご家族についておたずねします。
[1~8のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○印]

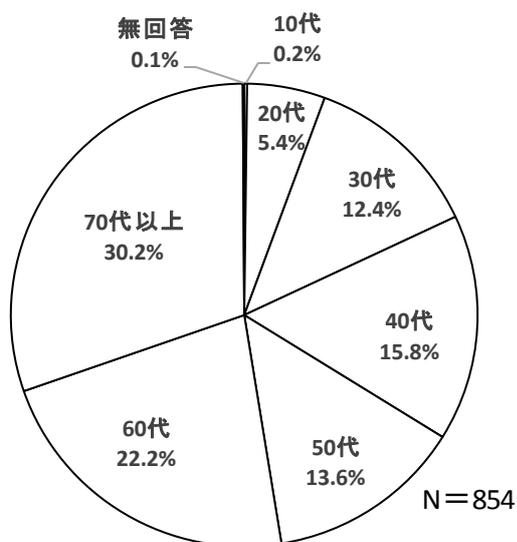
① 性別

「男性」が43%、「女性」が56%でした。



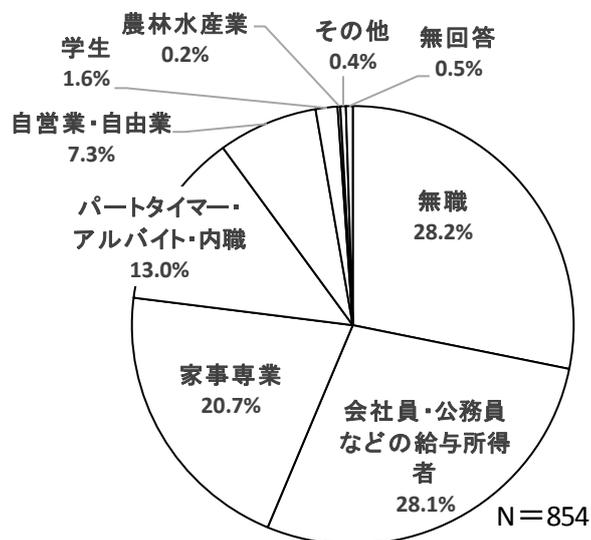
② 年齢

「70代以上」が30%と最も多く、「60代」が22%、「40代」が16%となっています。60代と70代以上を合計すると52%と過半数でした。



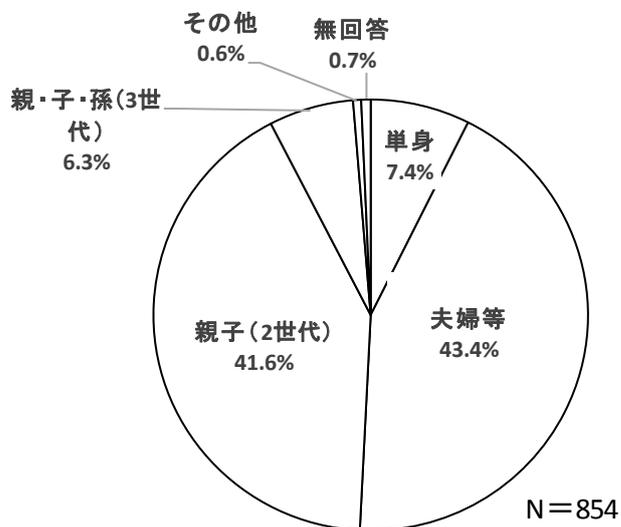
③ 職業

「無職」が 28%と最も多く、次いで「会社員・公務員などの給与所得者」が 28%、「家事専業」が 21%となっています。無職が多いのは、アンケート全体として、60 代以上の高齢者の回答が多かったためと考えられます。



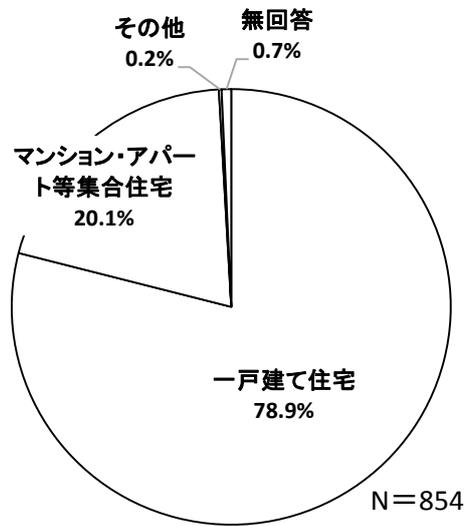
④ 世帯構成

「夫婦等」が 43%と最も多く、次いで「親子（2世代）」が 42%となっています。



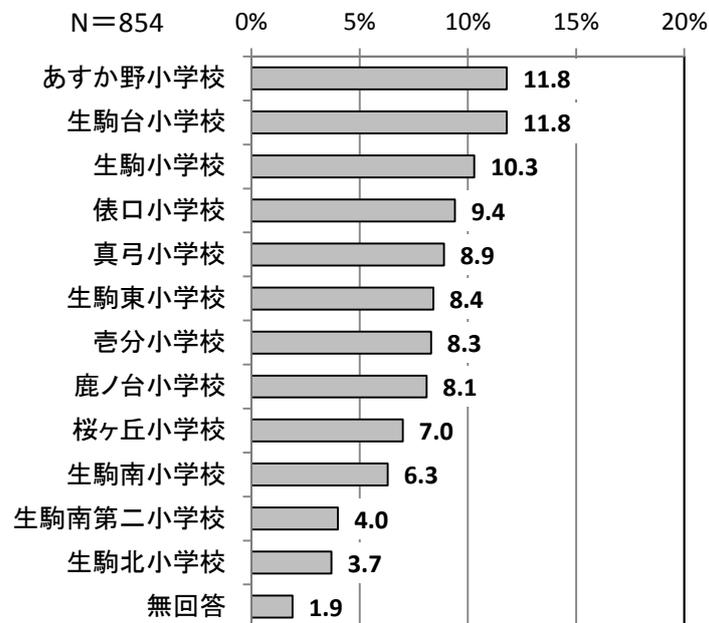
⑤ 住居の形式

「一戸建て住宅」が79%と最も多く、次いで「マンション・アパート等集合住宅」が20%、となっています。



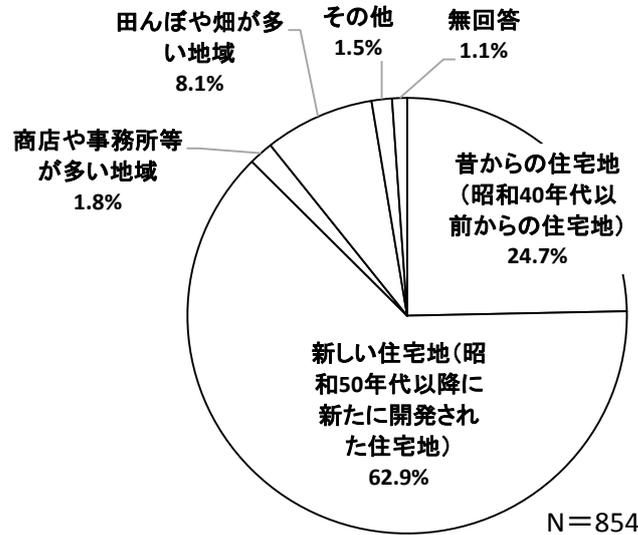
⑥ 住まいの小学校区

「あすか野小学校」と「生駒台小学校」が12%で最も多く、次いで「生駒小学校」が10%、「俵口小学校」が9%となっています。



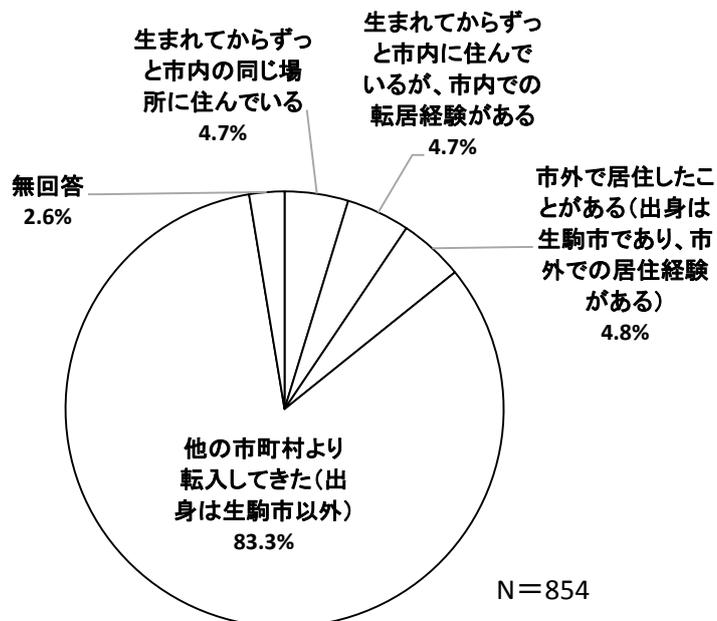
⑦ 住まいの周辺の状況

「新しい住宅地（昭和 50 年代以降に新たに開発された住宅地）」が 63%と最も多く、次いで「昔からの住宅地（昭和 40 年代以前からの住宅地）」が 25%、「田んぼや畑が多い地域」が 8%となっています。



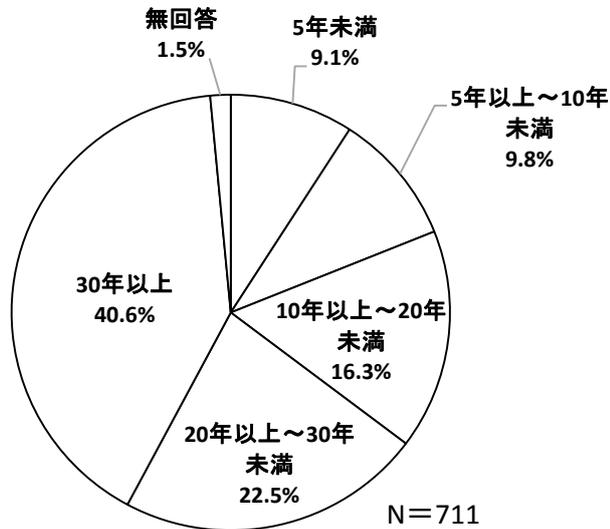
⑧ 生駒市の居住年数

「他の市町村より転入してきた（出身は生駒市以外）」が 83%と最も多く、次いで「市外で居住したことがある（出身は生駒市であり、市外での居住経験がある）」が 5%となっています。



⑨ 「他の市町村より転入してきた（出身は生駒市以外）」方の生駒市での居住年数

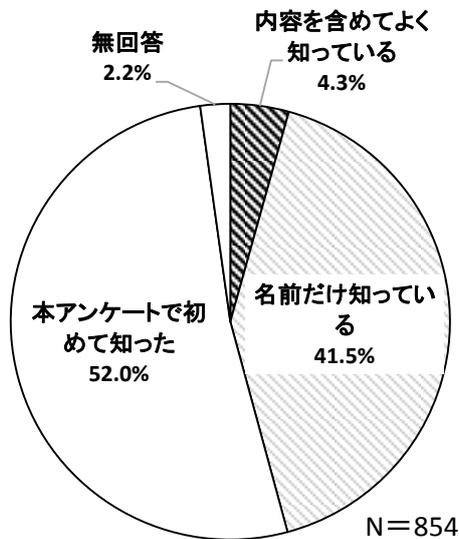
⑧で「他の市町村より転入してきた（出身は生駒市以外）」を選んだ方に、生駒市での居住年数を尋ねたところ、「30年以上」が41%と最も多く、次いで「20年以上～30年未満」が23%となっていました。



■ 環境モデル都市について

問2 生駒市が環境モデル都市に選定されていることをご存知でしたか。
[あてはまる番号1つに○印]

「本アンケートで初めて知った」が52%と最も多く、次いで「名前だけ知っている」が42%、「内容を含めてよく知っている」が4%となっています。



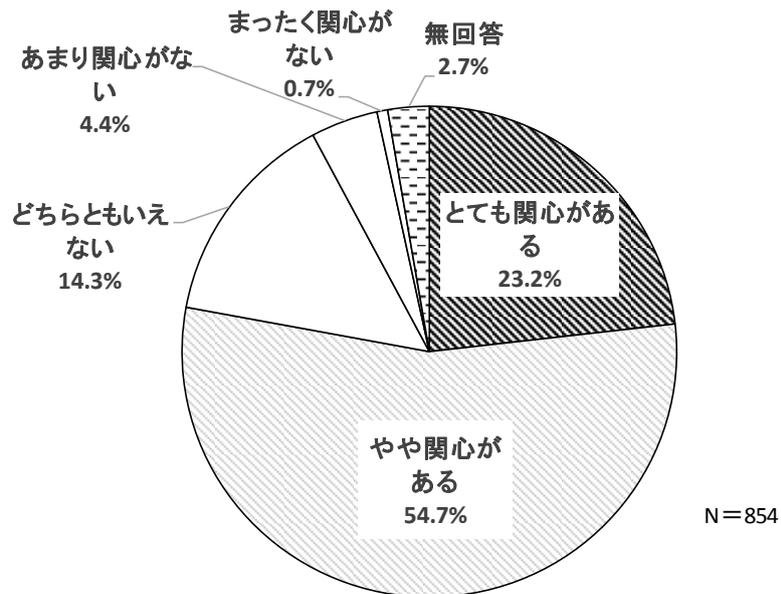
■ 環境への関心・考え方

問3 あなたは、環境問題にどの程度関心がありますか。〔あてはまる番号1つに○印〕

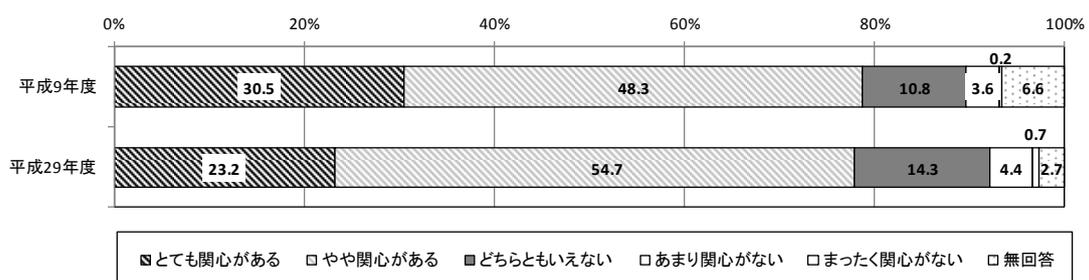
「やや関心がある」が55%と最も多く、次いで「とても関心がある」が23%、「どちらともいえない」が14%となっています。

前回（平成9年度）調査と比較すると、「とても関心がある」が減少し、「やや関心がある」が増加していました。

【全体】



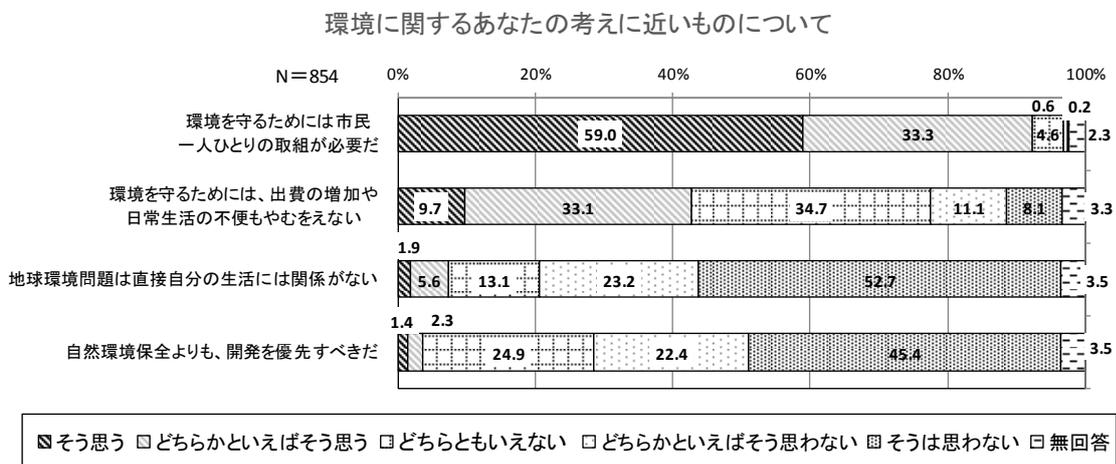
【前回（平成9年度）との比較】



問 4 環境に関する下記の 1～4 の考え方について、あなたの考えに近いものを選んでください。
 [1～4 のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印]

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は「環境を守るためには市民一人ひとりの取組が必要だ」の 92%（「そう思う」59%、「どちらかといえばそう思う」33%の計）が最も多く、次いで「環境を守るためには、出費の増加や日常生活の不便もやむをえない」が 43%（「そう思う」10%、「どちらかといえばそう思う」33%の計）となっています。

「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた回答は「地球環境問題は直接自分の生活には関係がない」の 76%（「そうは思わない」53%、「どちらかといえばそう思わない」23%の計）が最も多く、次いで「自然環境保全よりも、開発を優先すべきだ」が 68%（「そうは思わない」45%、「どちらかといえばそう思わない」22%の計）となっています。



■現状の環境・環境施策に対する満足度・重要度・誇りに思う生駒の環境

問 5- (1) 満足度 下記の 1～33 にあげた、生駒市の環境の現状や環境施策について、どの程度満足していますか。[1～33 のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印]

【全体】

環境が良いことや市の取組を評価する（「満足している」「ある程度、満足している」を合計した割合が高い）設問は、「身近な緑の豊かさ」（87%）、「日当たりの良さ」（84%）、「空気のきれいさ」（84%）、「周辺の静けさ」（75%）、「周辺の清潔さ」（68%）、「買い物など日常生活の便利さ」（62%）、「ごみの減量やリサイクルの促進」（60%）、「野山など自然に親しむ場所の豊かさ」（60%）等でした。

環境が良くない、或いは市の取組を評価していないことを示す（「不満である」「やや不満である」を合計した割合が高い）設問は、「周辺の道路などの安全性」（34%）、「公共交通の充実や自転車利用環境の整備等、自動車の利用を減らす取組」（29%）、「川や池、水路などの水のきれいさ」（28%）、「生駒の自然・文化の魅力が観光客等の訪問者によく知られている」（25%）等でした。

全体的に、環境が良いことや市の取組を評価している（「満足している」「ある程度、満足している」の合計の割合が高い）割合が、評価していない（「不満である」「やや不満である」を合計した割合が高い）割合よりも高い結果でした。一方、分野別に見ると、「生活環境」「自然との共生・生物多様性」は評価する割合が比較的高くなっていましたが、「環境と産業」「再生エネルギー・温暖化対策」については評価する割合が低い結果でした。

【前回との比較】

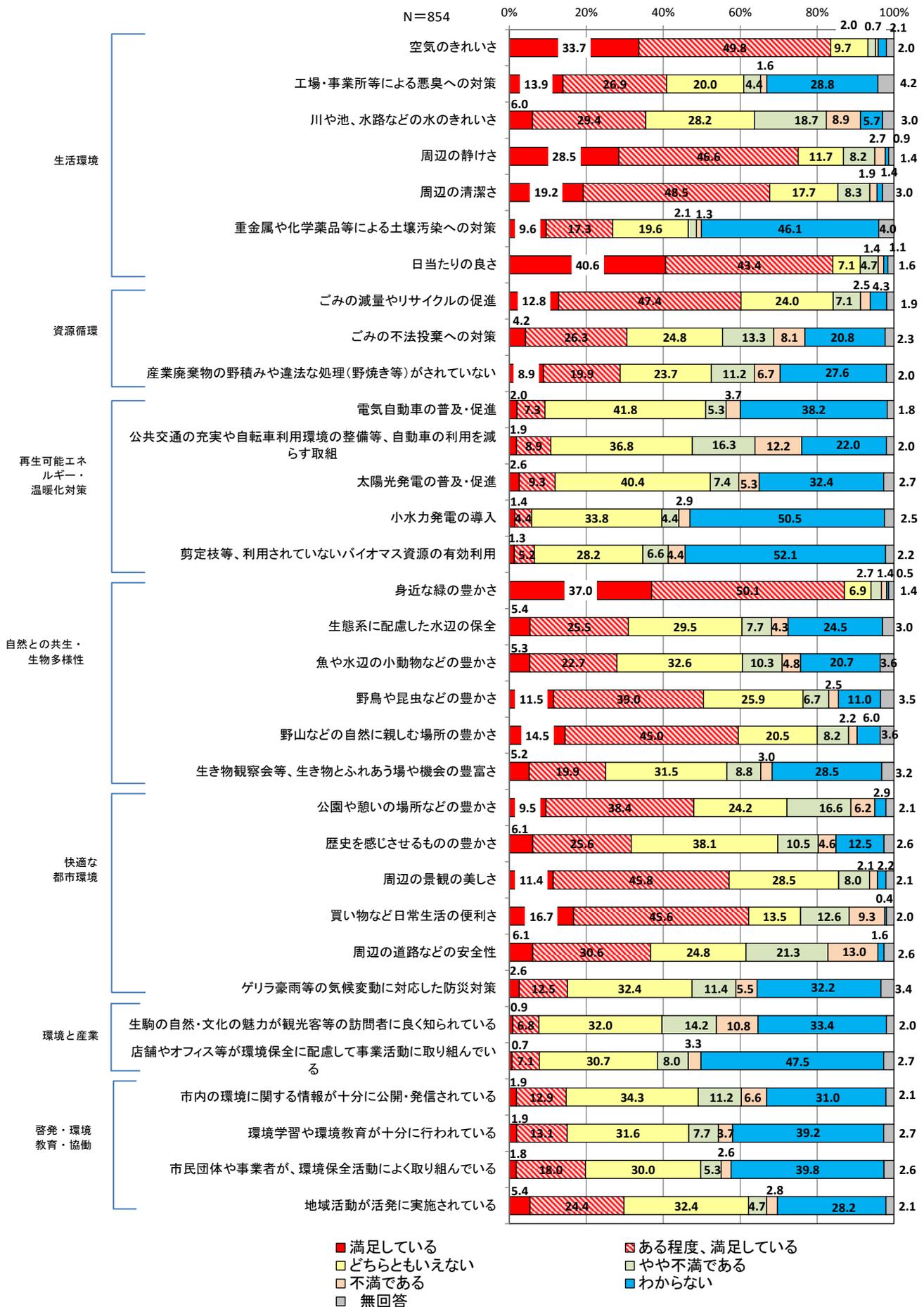
今回の調査結果で満足すると評価した割合を、平成 9 年度に実施したアンケート調査の結果（以下、前回調査と記載）と比較しました（「評価する」とした割合は前回調査が「非常に満足」「やや満足」の合計、今回が「満足している」「ある程度、満足している」の合計としました）。

全体的に、前回調査と比べ、評価するとした割合が高くなっていました。個別の設問について評価する割合を見ると、「川や池、水路などの水のきれいさ」（前回調査 14%、今回調査 35%）、「周辺の清潔さ」（前回調査 46%、今回調査 68%）では、評価するとした割合が 20 ポイント以上、上がっていました。

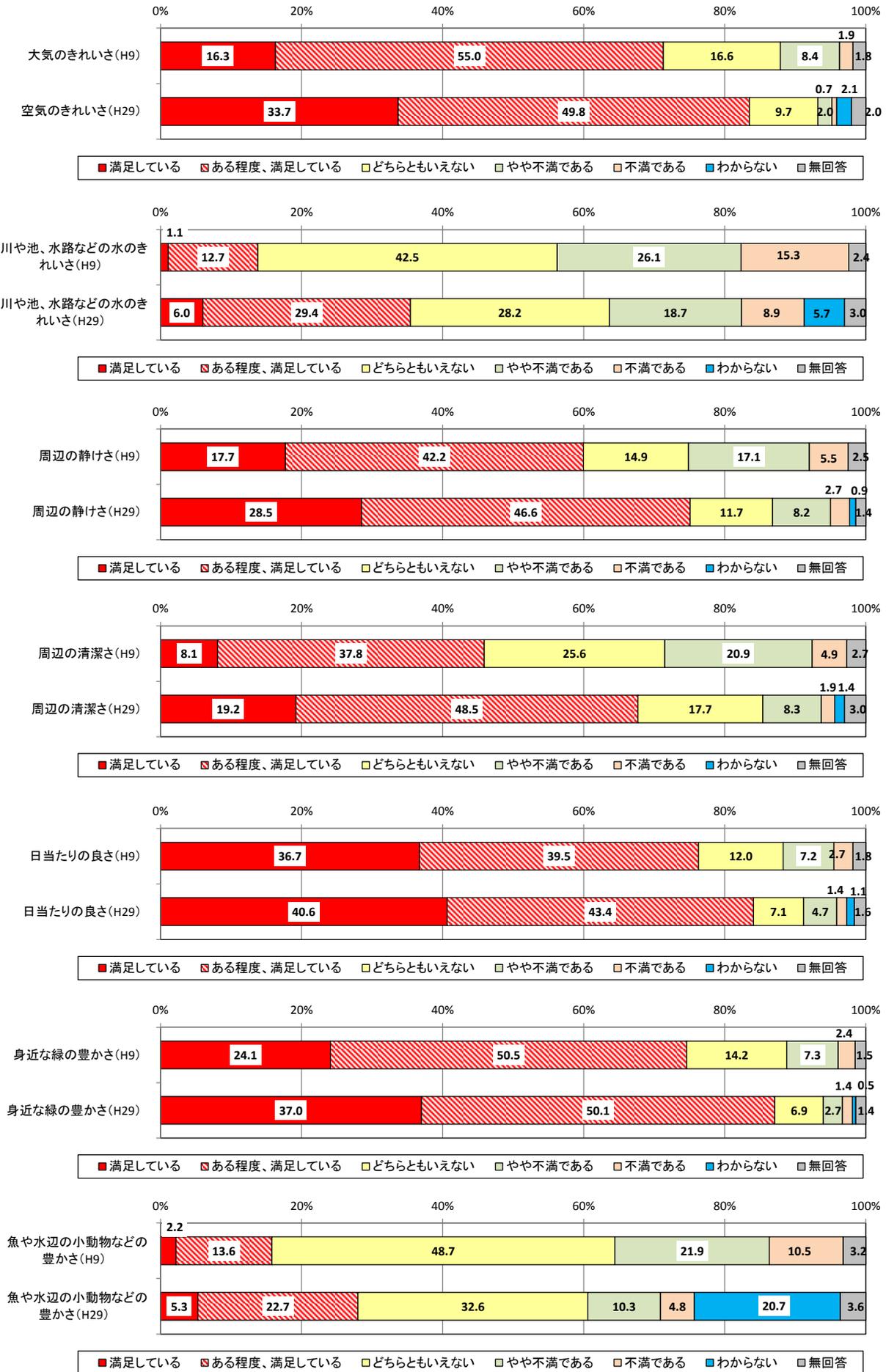
なお、前回調査と違い、今回の調査では「わからない」の選択肢が増えています。前回は調査対象とした設問のうち、今回の調査で「わからない」の割合が 10%以上と高かったのは、「魚や水辺の小動物などのゆたかさ」（21%）、「歴史を感じさせるものの豊かさ」（13%）、「野鳥や昆虫などの豊かさ」（11%）でした。

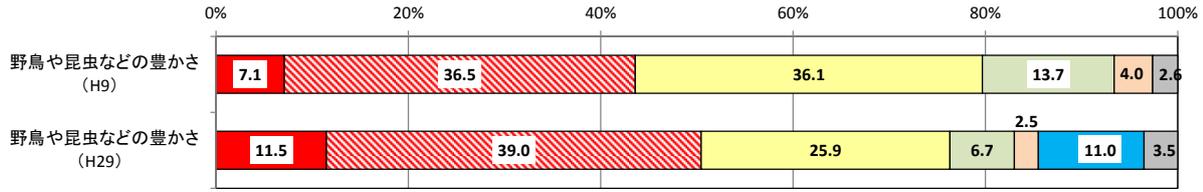
【全体】

現状の環境・環境施策に対する満足度

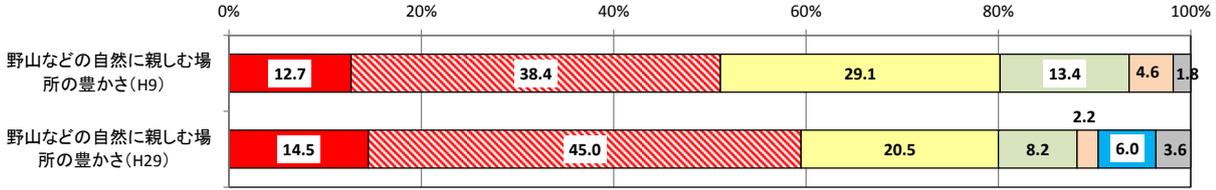


【前回（平成9年度）との比較】

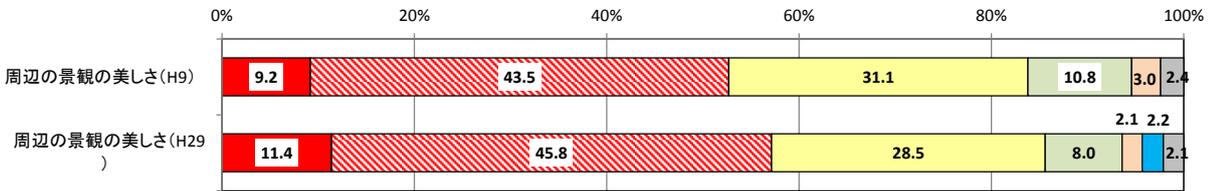




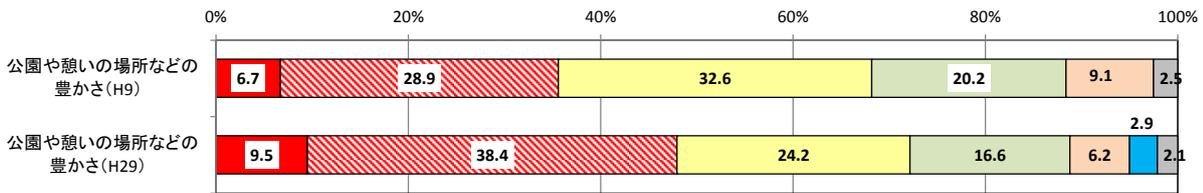
■満足している ■ある程度、満足している ■どちらともいえない ■やや不満である ■不満である ■わからない ■無回答



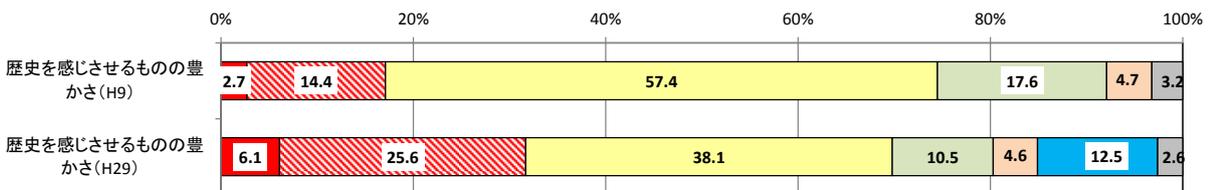
■満足している ■ある程度、満足している ■どちらともいえない ■やや不満である ■不満である ■わからない ■無回答



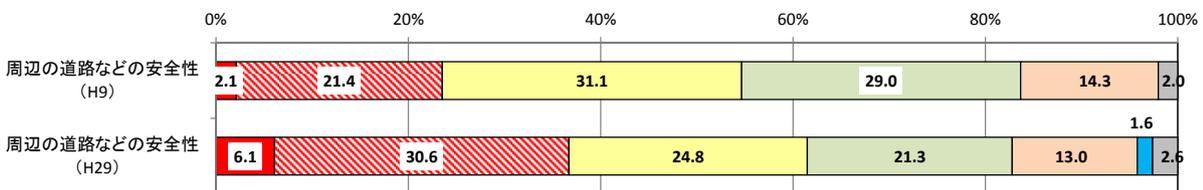
■満足している ■ある程度、満足している ■どちらともいえない ■やや不満である ■不満である ■わからない ■無回答



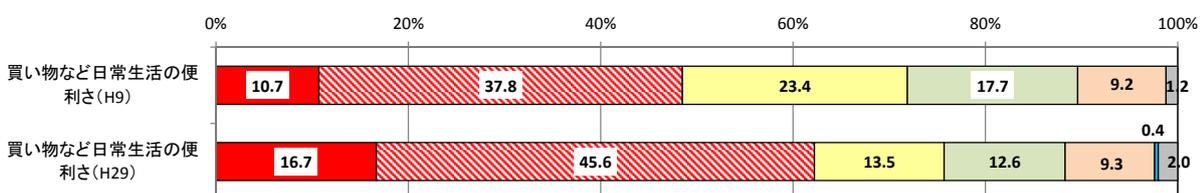
■満足している ■ある程度、満足している ■どちらともいえない ■やや不満である ■不満である ■わからない ■無回答



■満足している ■ある程度、満足している ■どちらともいえない ■やや不満である ■不満である ■わからない ■無回答



■満足している ■ある程度、満足している ■どちらともいえない ■やや不満である ■不満である ■わからない ■無回答



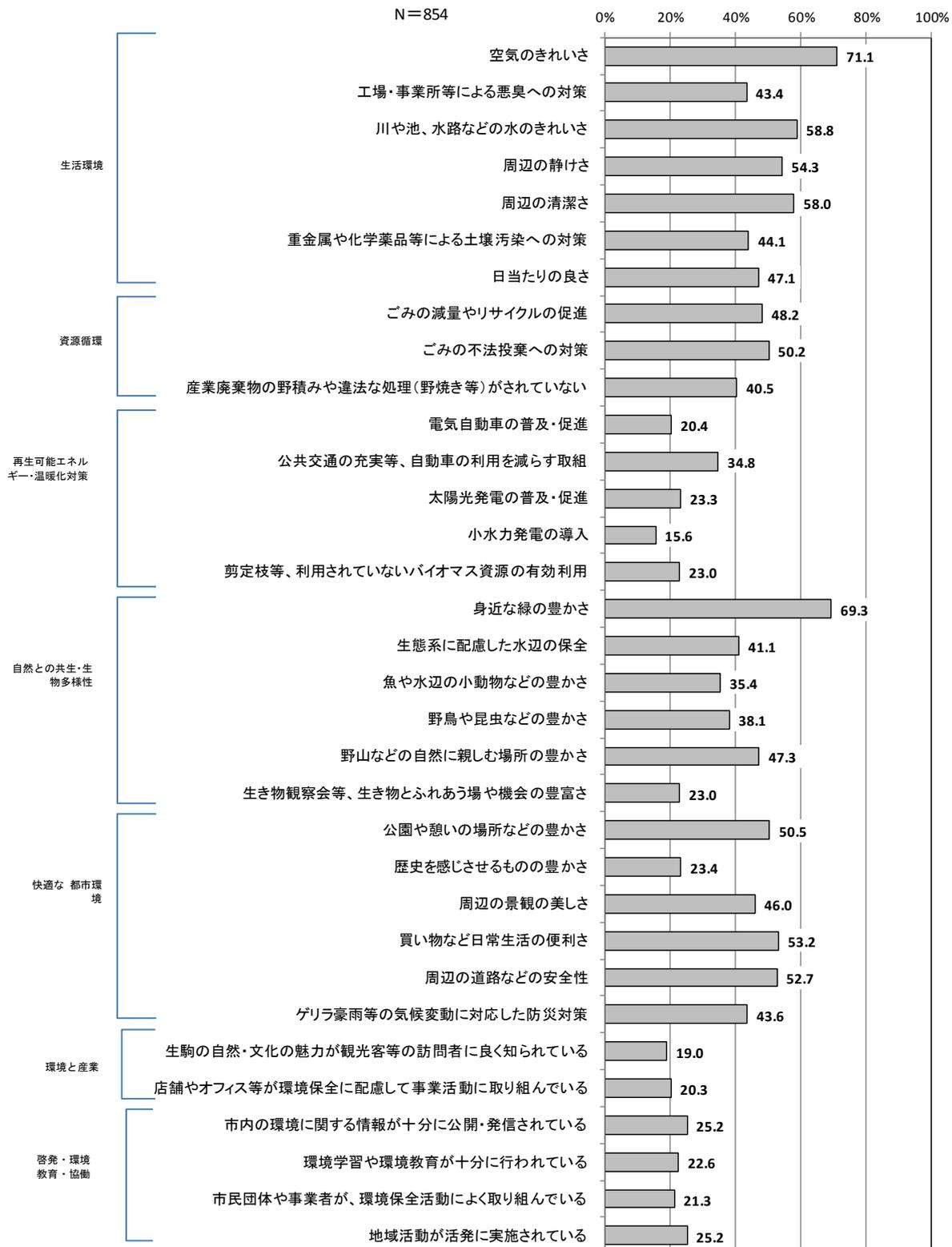
■満足している ■ある程度、満足している ■どちらともいえない ■やや不満である ■不満である ■わからない ■無回答

問5-(2) 重要度 これらの環境の現状や環境施策は、あなたにとって重要ですか。重要だと思うものをいくつでもお選びください。[1~33のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

全体的に、「生活環境」については重要度が比較的高くなっていましたが、「環境と産業」、「再生可能エネルギー・温暖化対策」、「啓発・環境教育・協働」については比較的低くなっていました。

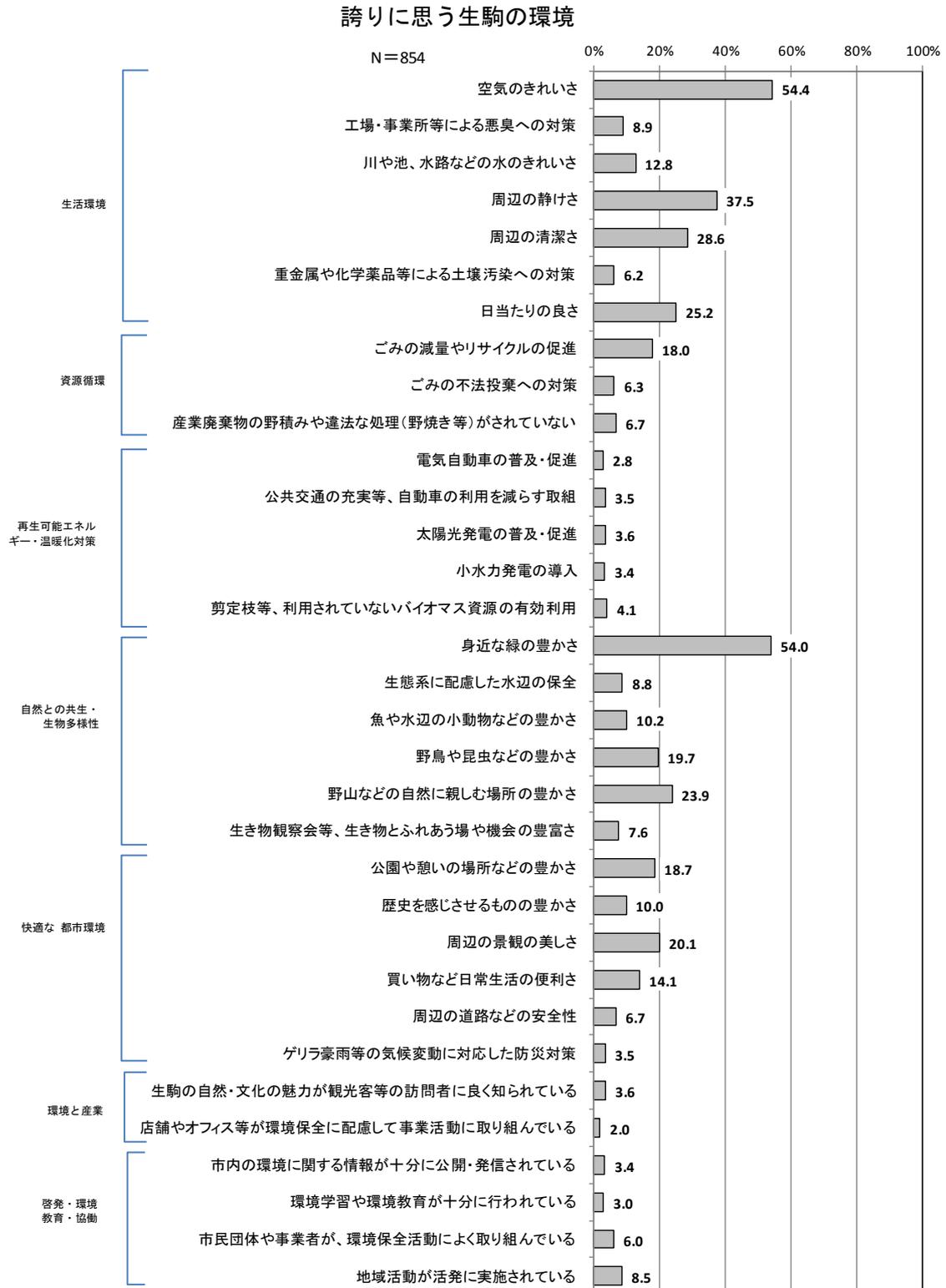
個別に見ると、「空気のきれいさ」(71%)、「身近な緑の豊かさ」(69%)、「川や池、水路などの水のきれいさ」(59%)となっています。

現状の環境・環境施策に対する重要度



問 5- (3) 誇りに思う生駒の環境 これらの環境状況や施策のうち、誇りに思うもの、後世まで受け継いでいきたいと思うものをいくつかもお選びください。 [1~33のうち、あてはまる番号に、いくつかでも○印]

個別に見ると、誇りに思う割合が高いのは、「空気のきれいさ」(54%)、「身近な緑の豊かさ」(54%)、「周辺の静けさ」(38%)、「周辺の清潔さ」(29%)、「日当たりの良さ」(25%) 等でした。



■ 環境行動取組状況・今後の取組意向

問 6- (1) 現在の環境行動取組状況

下記の 1～22 にあげた、生活の中での環境に関する行動について、あなたは普段どの程度取り組んでいますか。[1～22 のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印]

全体的に、「生活環境」については比較的取り組んでいるとする割合（「いつも取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」の合計）が高くなっていました。

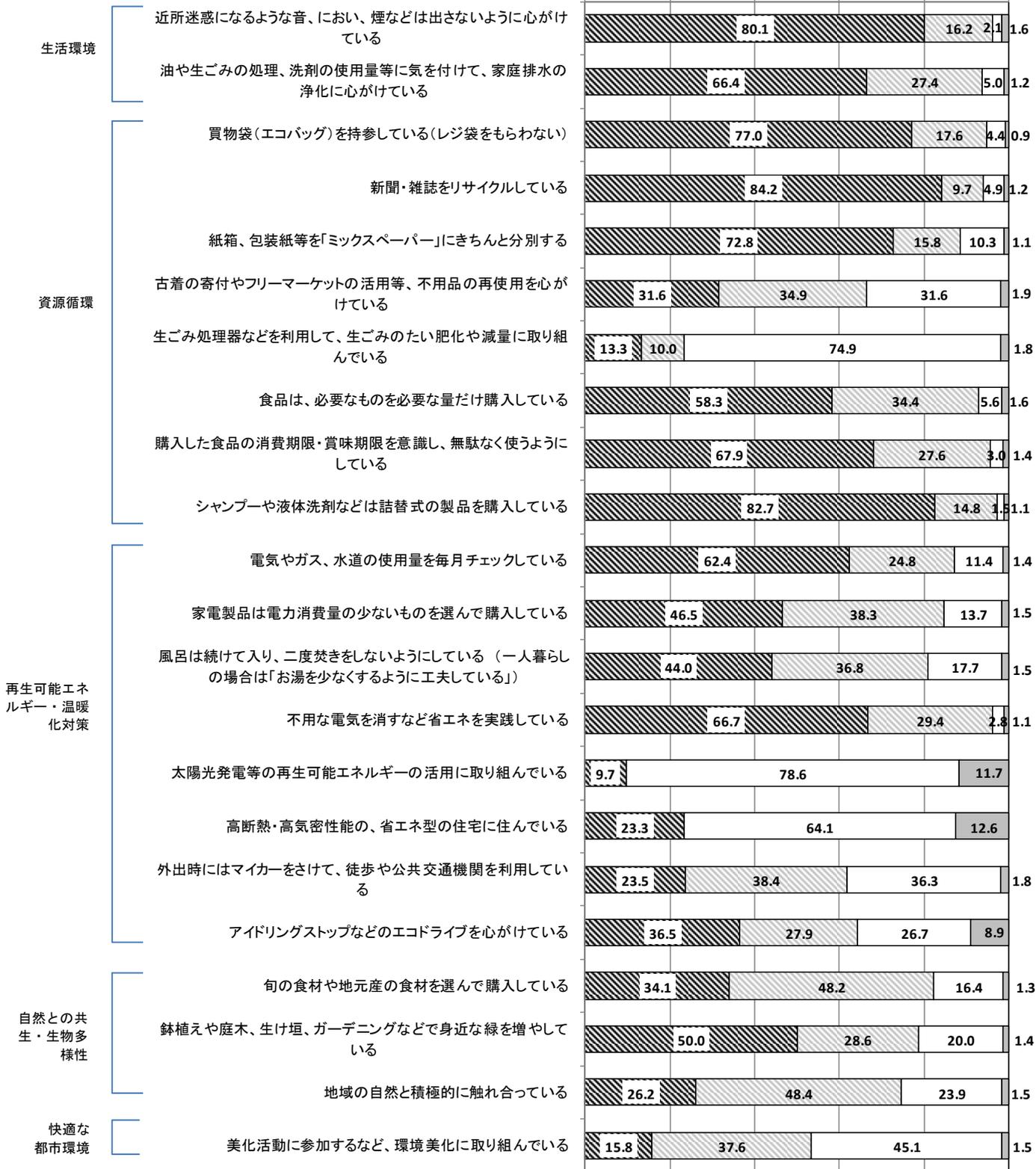
「いつも取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせた回答は「シャンプーや液体洗剤などは詰替式の製品を購入している」の 98% が最も多く、次いで「近所迷惑になるような音、におい、煙などは出さないように心がけている」が 96%、「不要な電気を消すなど省エネを実践している」が 96% となっています。

「取り組んでいない」と回答したのは「太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用に取り組んでいる」の 79% が最も多く、次いで「生ごみ処理器などを利用して、生ごみのたい肥化や減量に取り組んでいる」が 75%、「高断熱・高气密性能の、省エネ型の住宅に住んでいる」が 64% となっています。

現在の環境行動取組状況

N=854

0% 20% 40% 60% 80% 100%



いつも取り組んでいる
 時々取り組んでいる
 取り組んでいない
 無回答

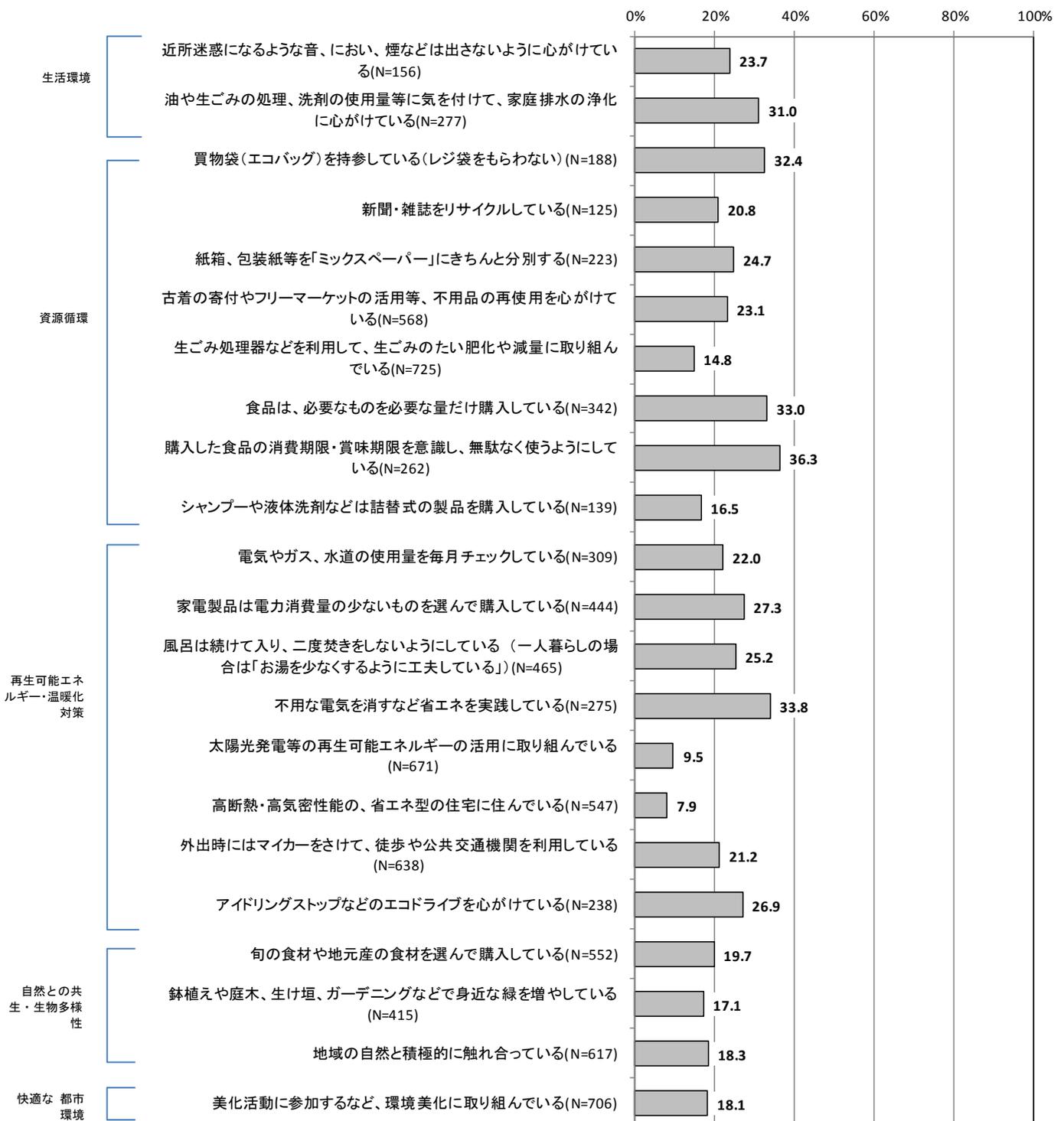
問6-(2) 今後の取組意向

(1)で、「時々取り組んでいる」または「取り組んでいない」を選んだ場合は、よりよいまちにするため、今後これまで以上に取り組みたいと思うものに○をつけてください。[1~22のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

全体的にどの項目も低い割合となっています。

個別に見ると、「購入した食品の消費期限・賞味期限を意識し、無駄なく使うようにしている」が36%、「不要な電気を消すなど省エネを実践している」が34%、「食品は、必要なものを必要な量だけ購入している」が33%となっています。

今後、これまで以上に取り組みたいと思うか

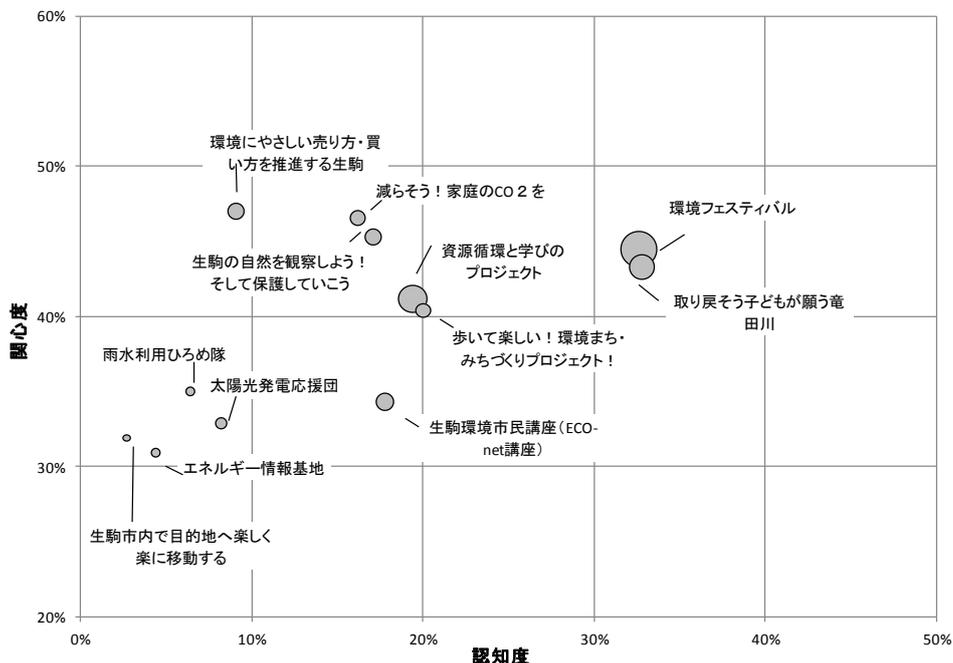
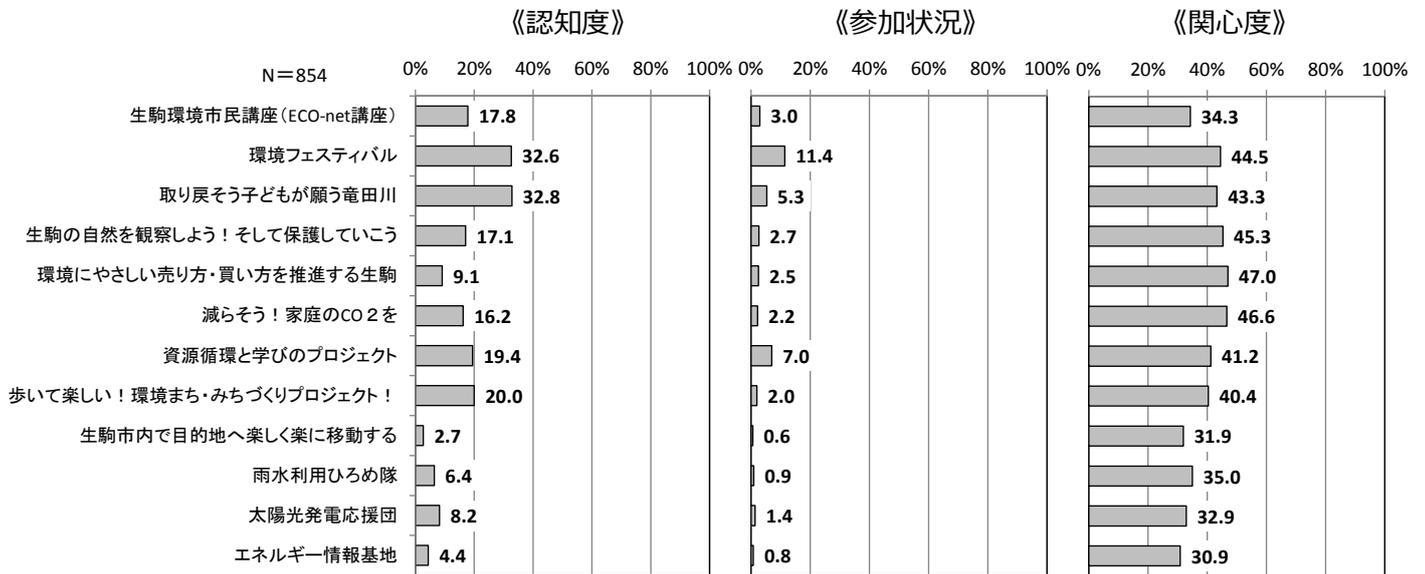


■ 取組の認知度・参加状況・関心度

問 7 生駒市では豊かな自然と歴史と未来が融合したまちを実現するため、協働プロジェクトとして、下記の1～12のような取組を行っています。これらの取組をご存知でしたか。またこのような取組に関心がありますか。〔1～12の取組ごとに、「認知度」「参加状況」「関心度」それぞれについて、あてはまる番号を1つずつ〇印〕

各取組について、認知度や参加状況に比べて、関心度が高くなっていました。情報提供や周知徹底が不十分であることが考えられます。中でも「環境にやさしい売り方・買い方を推進する生駒」については関心度が一番高いものの、認知度では9%と低く、情報提供等を進める必要があると思われます。

認知度が比較的高い「環境フェスティバル」は、他の協働プロジェクトと比べると、比較的参加状況も高くなっていました。



■ 生駒市の理想的な将来像

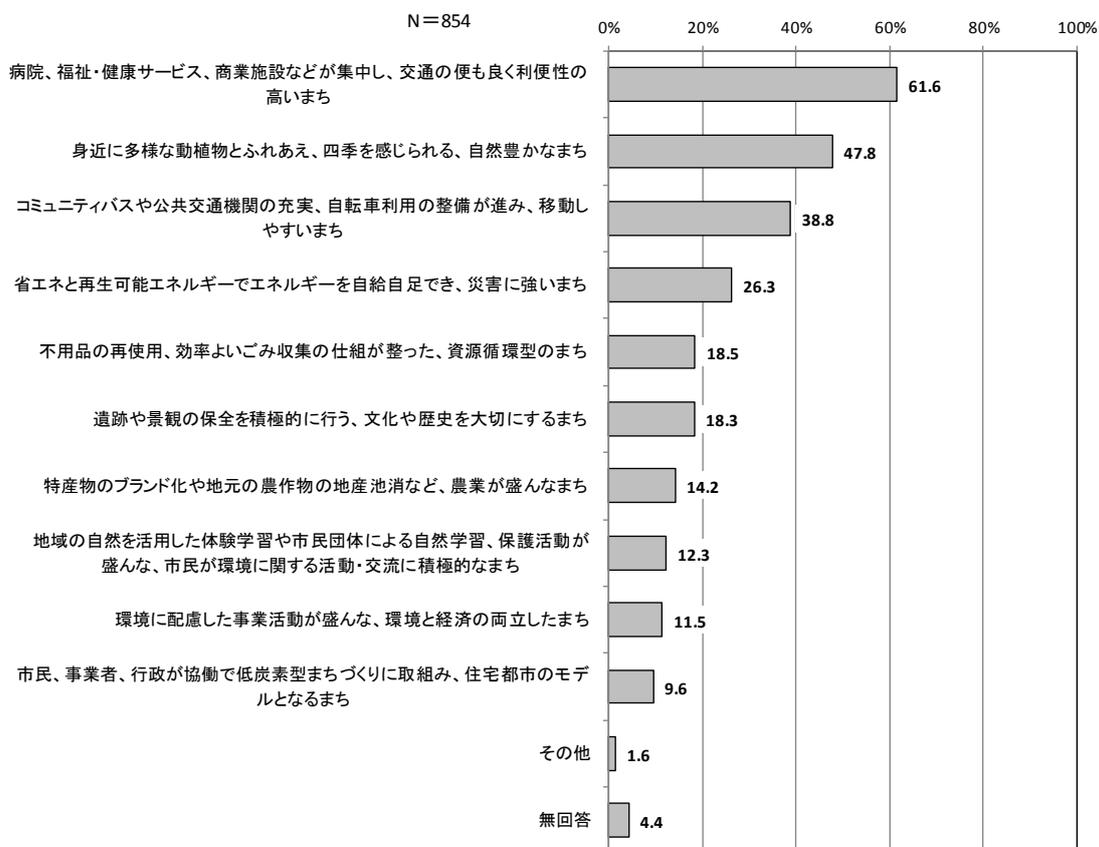
問8 下記の1～11に考えられる生駒市の将来像を挙げています。

この中で、あなたの理想とする生駒市の将来像に近いものがあれば、お選びください。

[1～11のうち、あてはまる番号3つまでに○印]

「病院、福祉・健康サービス、商業施設などが集中し、交通の便も良く利便性の高いまち」が62%と最も多く、次いで「いつでも身近に多様な動植物とふれあうことができ、四季を感じられる、自然豊かなまち」が48%、「自動車に代わり、コミュニティバスや公共交通機関の充実や自転車のネットワーク整備が進み、目的地に移動しやすいまち」が39%となっています。

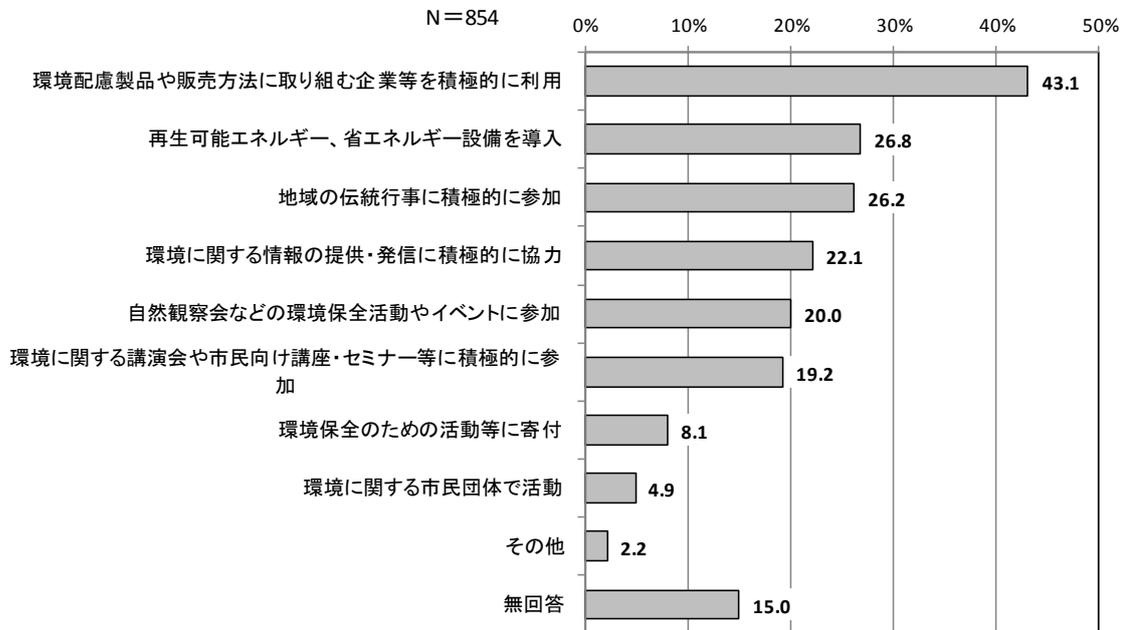
生駒市の理想的な将来像



問9 理想的な将来像を実現するために、あなたはどのような取組ができると思いますか。[1~9のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

「環境に配慮した製品や販売方法に取り組む企業等を積極的に利用する」が43%と最も多く、次いで「再生可能エネルギー、省エネルギー設備を導入する」が27%、「地域の伝統行事に積極的に参加する」が26%となっています。

理想的な将来像を実現するための取組

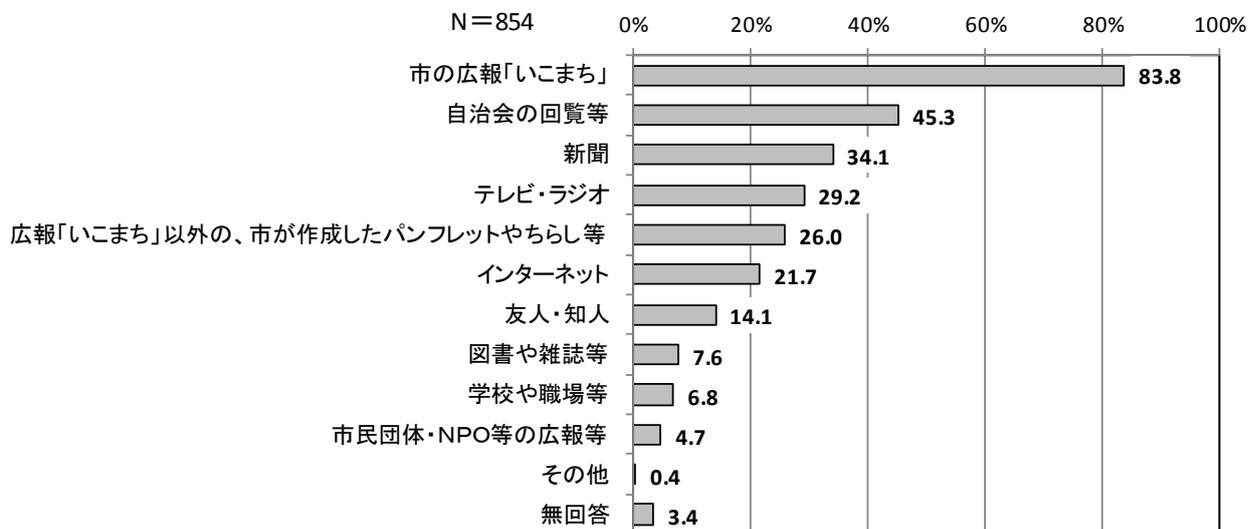


■ 環境関連情報の入手先

問10 環境に関する情報の主な入手先をお答えください。[1~11のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

「市の広報「いこまち」」が84%と最も多く、次いで「自治会の回覧板」が45%、「新聞」が34%となっています。

環境関連情報の入手先

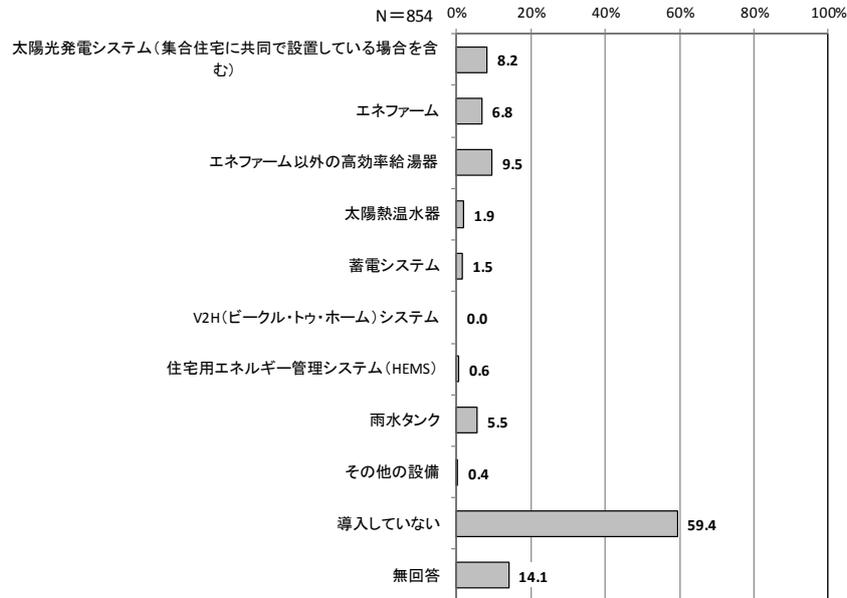


■ 地球温暖化対策について

問11 あなたの家庭で、既に導入している再生可能エネルギー等がありましたらお答えください。
[1～10のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

「導入していない」が59%と最も多く、次いで「エネファーム以外の高効率給湯器」が10%、「太陽光発電システム（集合住宅に共同で設置している場合を含む）」が8%となっています。

家庭で導入している再生可能エネルギー等

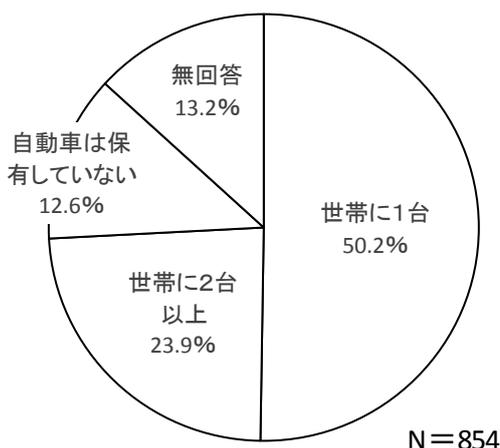


問12 自動車の所有状況をお答えください。保有している場合は、保有する車の種類もお答えください。
[1～3のうち、あてはまる番号1つに○印。保有する車の種類はいくつでも○印]

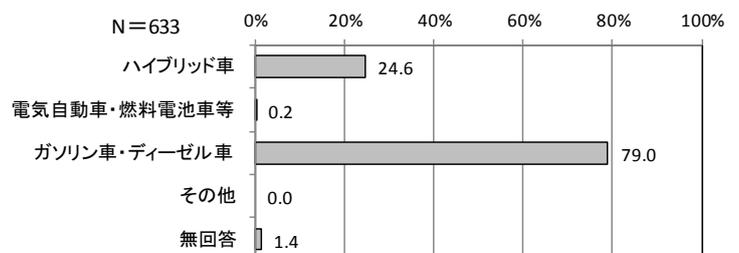
保有する車の台数については、「世帯に1台」が50%と最も多く、次いで「世帯に2台以上」が24%となっています。

保有している方に、保有する車の種類を聞いたところ、「ガソリン車・ディーゼル車」が79%と最も多く、次いで「ハイブリッド車」25%となっています。

保有する車の台数について



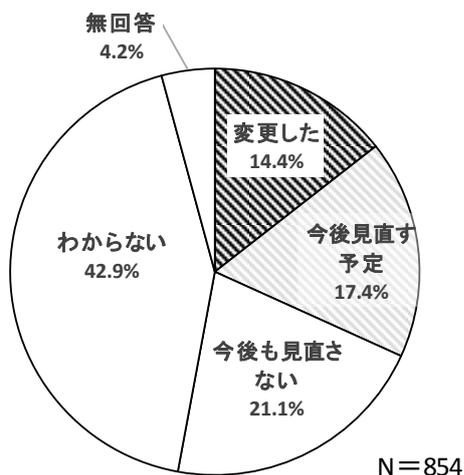
保有する車の種類について（複数回答）



【一般家庭でも様々な電力会社やガス会社と契約ができるようになりました。また、生駒市もこの7月に地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」を設立しました。】

問13-(1) あなたのご家庭で、電力の購入先を変更、または見直す予定はありますか。
[それぞれについて、あてはまる番号1つに○印]

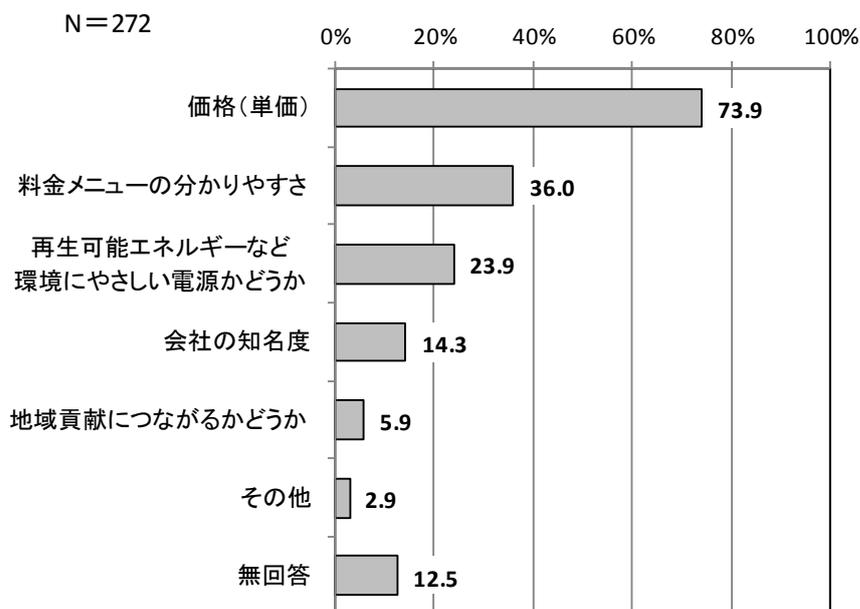
「わからない」という回答が43%と最も多く、まだ決めていない様子が見えますが、見直す、見直さないに関しては、「今後見直さない」が21%、「今後見直す予定」が17%、既に「変更した」が14%となっています。



問13-(2) 「変更した」「今後見直す予定」の方にお聞きします。見直しに当たって重視することの番号にいくつでも○を付けてください。

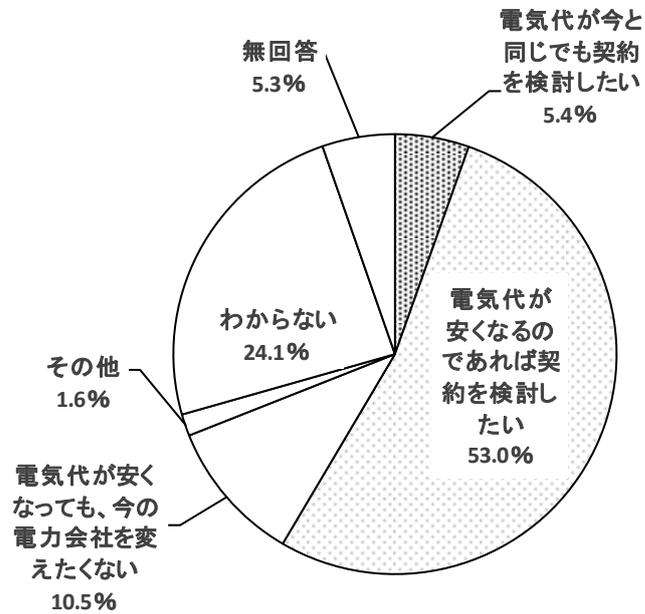
「価格(単価)」が74%と最も多く、次いで「料金メニューの分かりやすさ」が36%、「再生可能エネルギーなど環境にやさしい電源かどうか」が24%となっています。

電力の購入先の見直しに当たって重視すること



問 13- (3) 平成 31 年度をめどに、一般家庭でも生駒市の地域新電力会社と契約できる予定ですが、そうなった場合に契約を検討したいと思いますか。[1~5 のうち、あてはまる番号に 1 つに○印]

「わからない」が 24%と比較的多いのを除くと、「電気代が安くなるのであれば契約を検討したい」が 53%と最も多く、次いで「電気代が安くなっても、今の電力会社を変えたくない」が 11%でした。



N=854

問14 その他、将来の生駒市の環境に対する希望がございましたら、ご自由にお書きください。

多く回答が見られたのは、利便性向上や渋滞解消などの交通分野に関するものでした。また、自然の保全や緑化の推進などの自然環境に関する意見も比較的多く見られました。以下に、主な意見を抜粋して示しました。

【自然環境について】

- ・少しぐらいの利便を放棄しても、緑が豊かな、自然が多い、空気もおいしい、生駒山が眺められる生駒市であってほしいと思います。
- ・緑が少なくならないようにしていただきたい。
- ・居住地区は田畑が多く四季を感じられて良いこともあるが、野焼きされることが多いので健康に害が及ばないか不安である。今の時代に合った田畑の利用を考えてほしい。
- ・里山を活かした自然活動に子供達が安全に参加できて森林のすばらしさを知ってもらえる機会を多く作れたらいいかと思います。

【河川・下水道等について】

- ・下水道を普及促進し、河川の浄化に取り組んでほしい。
- ・生駒川（竜田川）にいろんな生物がもどってくることを願っています。生駒山の美しさ豊かさの中で暮らし続けたいです。
- ・昔、竜田川の氾濫を避ける為、川浚えをして下さっていましたが、ここ10年以上、して下さっていません。近年の、異常気象の大雨の時に、水位が上がってきているのが気になります。定期的な川浚えをお願い致します。又、電気自動車や、太陽光発電などの導入時の補助金を検討願います。電動自転車のシェアリングシステムの導入をお願いします。

【交通について】

- ・バスがたくさん走って便利であるが、排気ガスに問題がある。電気自動車化できないか？市役所の自動車は電気自動車にすべてすべき!!又、市民に対しても太陽光・電気自動車等、地球温暖化対策に対して積極的に補助するなど促進してほしい。
- ・安全な道路の設置、公園の充実等、公園のメンテナンスをしっかりと。空家が増えているのに、住宅地の開発が多すぎる。もう少し長期的に考えてほしい。山林が、むやみに壊れている。災害対策ができているのか？
- ・車を持たなくてもより生活しやすい街になってほしいです。
- ・バスをもっと細かく通して欲しい。バスの運賃を下げたい。けいはんな線開通により小明地区→南田原北田原方面のバスがほぼなくなりました。南田原、北田原より、東生駒駅や西白庭駅へ行く公共交通機関がほぼない。バスを通して欲しい。病院あっても行けない。

【エネルギー・地球温暖化等について】

- ・省エネ、自然エネルギーの利用推進に賛成ですが、太陽光パネルの設置において山林を開発する事は環境配慮している様でしてないと思います。遊休地を利用する際もその周辺の環境を十分に配慮した上で行う必要があると思うのですが、個人の私有地においての開発にも市が審査する等、その先が経済活動の為だけではなく本当に生駒市の環境に配慮されるものであるかを判断し、先導していただきたい。(住宅地の開発等についても)。
- ・太陽光発電システムの価格が大変安くなっています。もっと普及率を上げるべきだと思います。また、雨水を屋上のタンクに蓄え、トイレの水にできればと思う。
- ・既存住宅の省エネ化の工事費の一部を市が補助を行う、・電線の地中化を行う、・インバウンドが見込めるような景観・歴史の観光政策を行う。
- ・2重窓や LED 電球の補助金、もっと分かりやすく出して欲しい。もっと小さな金額で多くの人が利用できる補助を出して欲しい。

【廃棄物・ごみ処理について】

- ・163号線沿いに産廃業者が林立しており、環境が良いとは言えない。駅周辺の開発にも注力すべきかと。これも町おこしの一策と考えます。

【環境基本計画や生駒市の目指す方向性について】

- ・環境問題に取り組んでいる本市はよくできていると思います（がんばっていると思う）。更に環境モデル都市として全国に名を知らせる事も大事だと思います。
- ・環境・文化・人にやさしい都市として発展して欲しい。
- ・この先、自然環境を軽視したまちづくりはますます非難が強くなるでしょう。人間と自然の共生に配慮した市政を期待しています。
- ・協働プロジェクトの事をほとんど知りませんでした。環境ってすごく関心ある反面、何となく難しい感じもします。知らない事がいっぱいです。もっと市民に周知して下さい。
- ・環境フェスタが将来の生駒市の環境の原点になろうかと思われまます。北部での開催と、中・南部でも開催を希望します。

【その他】

- ・長年生駒で住んでいますが、平日は仕事で大阪。親と同居しているので、実際の所、どう活動し環境保全をされているか分かりません。
- ・災害時、いざという時にこそ、町の力が問われるのだと思います。いつその時が来ても良い様に、一人一人が心掛けることが大切。